



2020年7月6日

各 位

会 社 名 株式会社アドバネクス

代表者名 代表取締役社長

柴野 恒雄

(コード番号 5998 東証第1部)

問合せ先 代表取締役常務最高財務責任者 大野 俊也

(TEL. 03-3822-5865)

**通期連結業績予想値と実績値との差異および特別損失（為替差損）の発生に関するお知らせ**

当社は、下記のとおり 2020年2月10日に公表しました2020年3月期の通期連結業績予想値と実績値との差異につきましてお知らせします。併せて、特別損失（為替差損）の計上についてもお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想値と実績値との差異について

(1) 2020年3月期通期連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	百万円 21,000	百万円 240	百万円 90	百万円 △150	円 銭 -
実 績 値 ( B )	21,280	304	187	△593	-
増 減 額 ( B - A )	280	64	97	△443	-
増 減 率 (%)	1.3	26.7	107.8	-	-
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	20,967	66	69	△107	-

(2) 差異が生じた理由

海外拠点の本業における収益改善が想定以上に進み、営業利益および経常利益は前回発表予想も上回り、営業利益は前期比238百万円、経常利益は同118百万円の増益となりました。一方、後述の特別損失発生等により親会社に帰属する当期純利益は前回予想を下回る結果となりました。

2. 特別損失（為替差損）の発生およびその内容について

当社は、ここ数年メキシコ、インドネシア、インド、チェコなど、グローバルビジネスの拡大戦略を進めてきました。そのような状況の中、新型コロナウイルス感染拡大による世界経済ならびに資源国や新興国現地通貨の為替への影響から、メキシコペソおよびインドネシアルピアが著しく変動したため、メキシコ子会社（Advanex de Mexico S. de R. L. de C. V.）、インドネシア子会社（PT. Advanex Precision Indonesia）において外貨建債務に多額の評価損が発生し、連結業績において特別損失として424百万円の為替差損を計上しました。

以上